

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 3年11月29日

事業所名：放課後等デイサービスUMIE

区分	チェック項目	現状評価(現状状況・工夫点等)	評価者の評価	評価者の評価と踏まえた改善計画・内容	
環境・体制整備	1 利用者に応じた指導調整スペースの十分な確保	十分な広さの教室に加えて、遊び場としてのプレイルームも用意し、事業所2つ以上の広大なスペースが確保できています。	はい 25 いいえ 4 わからない	改善点、改善が必要な箇所はありません。	
	2 職員の適切な配置	人員基準以上の職員配置を行い、ミーティング時には、管理者によるモニタリングを随時行うことで、職員の専門性の向上に取り組んでいます。	はい 19 いいえ 3 わからない 3	現状では、職員の増員は計画しておりません。	
	3 本人にわかりやすい環境、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた学習環境の整備	高齢者向け設備を改良し、手すり付きのトイレ/リフトに対応できており、個別学習用に十分な学習机が用意され、個別教育室も確保しています。	はい 25 いいえ 4 わからない	現状で対応できています。改善などの予定はありません。	
	4 清潔で、心よく過ごさせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	経年劣化の恐れられない清潔で広々とした空間を、今のところ確保できています。コロナ禍の現状においては、消毒、換気を怠りしていません。	はい 24 いいえ 1 わからない	教室は学びの場所、プレイルームは遊ぶ場所と、役割による使い分けを継続していきます。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参加	障害児発達支援システム「イブリンク」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。		引き続き、ムダ・ムリ・ムラの削減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は、まだ取り入れておりません。		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。	
	3 職員の資力の向上を行うための研修機会の確保	送迎職員の確保のため、外部研修への職員派遣は難しいところに加え、コロナ禍による外部研修への参加自費要件があり、事業所内での研修に留まっています。		引き続き、オンライン研修の活用を検討していきたいと考えています。	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したよでの児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援というニーズを含め課題に置き付けられています。		より効果的な学習支援に取り組めるように、K-ABC IIを導入する予定があります。	
	2 子どもに状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	「できる」体験を増やすことで、学びの楽しさが見つけられること、自己肯定感を育てることを前提に行っています。	はい 20 いいえ 1 わからない 2	集団活動の内容がマンネリにならないように、研修や書籍から、さらなるアイデアを得ていきたいと考えています。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の特定及び具体的な支援内容の記載	学習支援と、他児との交流を中心に作成しています。		他児との関わり、ワーキングメモリー、ビジョントレーニングといった観点からも、児童の必要項目を設定できるようにしたい。	
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施しています。	はい 22 いいえ 2 わからない	現状を継続したいと思います。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	基本となる学習支援プログラム以外の集団活動については、選好わりで担当職員を交代し、各自のアイデアで連携をしながら活動に取り組んでいます。		現状を継続したいと思います。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇中は、ゲーム等を使って、児童同士の交流を促進するなど、平日には時間的制約から実施できない活動で、社会性の向上を目指しています。	はい 21 いいえ 2 わからない 2	コミュニケーションの向上や、他者視点の育みが期待できる協力ゲームの拡充などを考えています。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	メインとなる支援は、オンライン教材のすらすらと、認知機能の発達を促す3種類のソフトを使ったメニューですが、集団活動については選好わりで内容を交代し、活動内容に工夫を凝らしています。		各児童の興味を育てたり、強みの発見につながるような工夫を凝らしていきたい。	
	8 支援開始前における職員間でのその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングで実施しています。		現状を継続したいと思います。	
	9 支援終了後における職員間でのその日行われた支援の振り返りや気づいた点などの情報の共有化	自宅送迎後の振り返りがままらなで、得意に、管理者へ情報の共有を実施、必要に応じて、翌朝のミーティングで取り上げます。		現状を継続したいと思います。	
	10 日々の実践に際しての正確な記録の取捨や、支援の検証・改善の継続実施	障害児発達支援システム「イブリンク」を使い、毎日、必要な入力項目への記録に努めています。		現状を継続したいと思います。	
	11 定規的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに行っています。		現状を継続したいと思います。	
	関係機関との連携	1 子どもに状況に合ったきめ細やかな支援による児童発達支援事業所のサービス担当者会議への参加	コロナ禍における、対外的な会議への参加自費要件があったため、過去1年は不参加。そのため、電話や相談員の訪問による情報共有に努めました。		コロナ禍の状況により、今後、対面での会議が再開されるようになれば、参加していきたいと考えています。
		2 (国・自治体等)が定める子どもや障害児の権利に関する子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
		3 (国・自治体等)が定める子どもや障害児の権利に関する子どもを支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小・中・高)等との連携内容等の十分な情報共有					
5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれぞれの支援内容等についての十分な情報提供		過去1年で該当者はいませんでした。		該当者がいれば、対応できるようにしていきたい。	
6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の積極的促進		特に連携を必要とする事例はありませんでした。専門機関による研修への参加は、送迎職員確保上の理由で実施できていません。		送迎職員の確保が優先されるため、対面での受講は困難であり、オンライン受講の機会を活かしたい。	
7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもとも活動する機会の提供		現時点では、事業所外での対外的な交流はございません。	はい 3 いいえ 14 わからない 5	保護者の意見も、必要が別れているようであり、実施に向けての今後の課題としたい。	
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		節分と土曜こどもまつり、近頃には一層参加が薄れ、地域住民の招待を想定した企画を実施していません。		現状を考えると、地域住民の招待を想定した企画の実施は難しいと思われるので、現状通りとします。	
保護者への説明・連携支援	1 支援の内容、利用負担等についての丁寧な説明	契約に準じては、重要事項説明書をもとに、1時間近くを用いて十分な説明を行っています。	はい 24 いいえ 4 わからない 1	現状を継続したいと思います。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の丁寧な説明	実施しています。	はい 18 いいえ 2 わからない 1	現状を継続したいと思います。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の実施	管理者はペアレントトレーニングの入門研修の受講に加えて、書籍による学習を続けたい。必要に応じて、助産を行える研修を取っています。	はい 12 いいえ 4 わからない 5	応用行動分析、ペアレントトレーニングについての研修を実施し、保護者からの要望に適切に対応できるようにしていきたいです。	
	4 子どもが発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	障害児発達支援システム「イブリンク」の連携ノート機能を用いた情報交換と、送迎時には対面での説明を行っています。	はい 23 いいえ 2 わからない	現状を継続したいと思います。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	送迎時における対応時など、保護者からの要望に対応できる体制はできています。	はい 4 いいえ 13 わからない 2	現状を継続したいと思います。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者の開催による保護者同士の連携支援	現時点では、保護者会は開催しておりません。	はい 1 いいえ 16 わからない 3	保護者のニーズが多い様であれば、開催を検討したいと思います。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に通知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに対応するように努めます。	はい 21 いいえ 3 わからない	現状を継続したいと思います。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	スラスラとした連絡ノートでのやり取りを始め、メール、電話など、保護者によって利用性の高い方法で情報共有できるように努めます。	はい 24 いいえ 1 わからない	自発的傾向を有する児童に対するPCO記録カード交換式コミュニケーションシステム等の導入可能性を検討したいと思います。	
	9 定規的な発達の発行、活動量や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現時点では、会報等の発行は行っていません。学習支援に専念する関係上、特別な行事は実施しておりません。	はい 5 いいえ 12 わからない 3	保護者からの要望が多い様であれば、現在利用中のInstagramで、プライバシーに配慮した形での情報発信を検討したいと思います。	
	10 個人情報取扱いに関する十分な対応	個人情報保護法に準じて説明した通りに取り組んでいます。	はい 23 いいえ 1 わからない 1	現状を継続したいと思います。	
非常事態への対応	1 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備されたものがあり、契約時にその旨説明を行っています。	はい 22 いいえ 1 わからない 2	現状を継続したいと思います。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	アンケート回収時では実施できておりましたが、11月来火災想定避難訓練を実施しました。	はい 9 いいえ 9 わからない 3	2022年度(4月〜3月)より、春秋の年2回実施する予定です。	
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	ミーティングで実施しています。		現状を継続したいと思います。	
	4 やむを得ず身体拘束を行う場における継続的な対応と、子どもや保護者に事前に十分な説明を行った上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体的拘束の必要性に陥られる場面はなく、その対応が必要な利用児童はいません。個別教育室や廊下での身体拘束を中心としたマンツーマン対応を行っています。		現状を継続したいと思います。	
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、各種アレルギーの有無を確認させて頂いております。		現状を継続したいと思います。	
	6 ヒヤリット事例の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリットについては、障害児発達支援システム「イブリンク」内に、電子的に記録しています。		現状を継続したいと思います。	